

長崎県立大学シーボルト校生協 1年生企画



[組織運営]

取り組み概要

日時：2021年8月～
場所：長崎県立大学シーボルト校学生会館
参加者数や組合員の反応：学生委員会の存在やSNSを知ってもらうきっかけにもなりました。

背景や概要：新学期活動が本格化する前に、1年生で1つの企画を作り、運営することにより、企画の一連の流れを把握し、また、1年生同士の仲を深めることで、今後の活動につなげることを目指しています。今年度は1年生の人数の都合上2つの企画を実施しました。

POINT.1

夏合宿で企画の立て方をしっかりマスター



1年生企画を始める前に、夏休みを利用して夏合宿が行われます。そこでは、2年生から学生委員会についてや、1年生企画の位置づけなどの説明があり、改めて学生委員会として活動していくための準備をします。その後、**組合員の現状と目指す姿を考える**など、企画の立て方を学び、上級生と一緒に企画を計画していきます。

上級生と一緒に企画の立て方を学ぶことで、経験談を聞くことや組合員の現状をより詳しく知ることができ、発想や考え方の幅が広がる工夫がなされています。

POINT.2

新しいレシピの提供を！

1つ目の企画である「救食～レシピ難民レスキュー隊～」では、組合員の一人暮らしの欠食や、コロナ禍による食生活の乱れに着目し、レシピを学生委員が考案し、レシピカードを作成し、配布しました。**普段の料理とはひと味違ったレシピカードを提供**することで、自炊の促進につながると考えました。また、住まい紹介の際にレシピカードを配布することで**新入生の自炊のきっかけにもつながる**ようアプローチしました。

レシピカードに学生委員会のInstagramのQRコードを添付することでSNSにもアクセスしてもらえる工夫がなされています◎



POINT.3

先輩や後輩、同級生と新たなつながりを



2つ目の企画である「たてよこnection～ハロウィン運動会～」では、組合員の**オンライン授業によるイベントや交流の機会の減少**に着目し、先輩や後輩、同級生とつながりをつくるために運動会を開催しました。**衣装をすることにより、話の話題となり話が弾むきっかけ**になりました。たくさんのレクリエーションを通して、新しい友達が増えたという組合員の声を聞くことができました◎

また、1年生の学生委員が企画運営を行うことで、同じ**1年生の参加者に学生委員会に興味をもってもら**う機会となり、学生委員が組合員の1人として、悩みや不安を解消するための取り組みを実践していることを伝えることができました。

本格化する新学期活動を前にやりがいを感じて学生委員のモチベアップ！